

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	こどもと造形表現Ⅰ	
科目基礎情報					
開設学科	こども学科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	15時間
単位数	1単位	授業形態	演習		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	井上 厚		実務経験の有無・職種	無	
学習目的					
乳幼児期は、人格の基礎が形成される時期である。この時期の教育において育みたい資質・能力を幼児の生活する姿から捉えたものの内容として五領域「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」が挙げられる。この科目は5領域の中から「表現」に関わる科目である。自身が保育者となった時に、個々のこども達が、自分なりの自由な表現が出来る指導援助が出来ることを目的とする。					
到達目標					
発達過程における特徴的な絵画表現を基礎的な知識として身に付けていて、様々な場面で活用出来る。学生が保育実習や幼稚園実習に出た際、または、卒業後保育の現場で、乳幼児に造形活動の指導援助をする際に、各年代の乳幼児にどのようなカリキュラムが相応しいのかを理解していて、適切に行えるようになる。また造形活動の指導援助を行う際に相応しい環境設定を判断し、選択出来て適切に行えるようになる。					
教育方法等					
授業概要	発達過程における特徴的な絵画表現を基礎的な知識として座学で学び、身につける。各年代の乳幼児にどのようなカリキュラムが相応しいのかを学び、将来保育の現場で適切に行えるようになる。また、環境設定について学び、将来保育の現場で適切に行えるようになる。				
注意点	授業時数の4分の3以上出席しないものは定期試験を受験することが出来ない。授業中に配られた資料は試験に直結するので、絶対に紛失ないように保管しておくこと。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	70%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～8回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	発達過程における特徴的な絵画表現 1		幼児の特徴的な表現「なぐりがき」についての知識を理解し、身に付ける。		
2回	発達過程における特徴的な絵画表現 2		幼児の特徴的な表現「象徴期」についての知識を理解し、身に付ける。		
3回	発達過程における特徴的な絵画表現 3		幼児の特徴的な表現「図式期 1」についての知識を理解し、身に付ける。		
4回	発達過程における特徴的な絵画表現 4		幼児の特徴的な表現「図式期 2」についての知識を理解し、身に付ける。		
5回	造形活動に於ける環境設定 1		絵の具を使った造形活動を行う際の環境設定を理解し、身に付ける。		
6回	造形活動に於ける環境設定 2		クレヨンを使った造形活動を行う際の環境設定を理解し、身に付ける。		
7回	造形活動のカリキュラム		幼児の造形活動のカリキュラムを理解し、身に付ける。		
8回	まとめ		この授業で学んだことの振り返りをして、学びをより確かなものにして、確実に身に付ける。		
9回					
10回					
11回					
12回					
13回					
14回					
15回					